

志位さんに聞いてみよう④

日本共産党の志位委員長に何でも聞いてみます。皆さんの疑問点や不明点をお寄せください。



質問に答える
志位委員長

Q 共産党はなんとなく近づきたいと思われていますが、そういう国民にどう答えていきますか。

A うーん、これはむずかしい。これは我々の努力不足なんでしょうね。こういう對話をもっと多く広げて本当の姿を知っていただく、疑問に答えていく努力が必要かと思えます。

私たちの活動の方法論として、まず難しい言葉を使わない、耳から聞いてスツと入っていけるような話し方をします。それから共産党は大きな方針では一致してがんばるのだけれど、みんな同じ話をするといいられないよう、自分の

個性を生かしてのびのび生の言葉で語る。それでこそ相手に思いが伝わると思います。

ネットの発信がこれからもっと必要と考え、赤旗の電子版を発行しました。ネット空間で結びつき応援してもらう「繋がるJCPサポーター」も発足させました。私たちの努力で「近づきたい」を壁のない共産党に変えて支持へと広げていきたいと思っています。「JCPサポーターまつり」が10月28日、東京都立青山公園（港区）で開かれ、のべ5000人が参加しました。

次回は「野党共闘の政権ができたなら、真つ先に何をしたいか」です。



TPP 12月30日発効

農業に「市場開放」の荒波が押し寄せる

環太平洋連携協定（TPP）が12月30日に発効することになりました。

参加11ヶ国のうち、日本、メキシコ、シンガポール、ニュージーランド、カナダ、オーストラリアが手続きを終え、6ヶ国の間で発行し残るベトナム、ブルネイ、チリ、ペルー、マレーシアも手続きを進めています。また欧州連合（EU）との経済提携協定（EPA）は来年2月に発効します。

そして中国やインドを含む東アジア地域包括的経済連携（RCEP）も妥結が目前となっている米国からも自由貿易協定（FTA）交渉を迫られています。

日本は自動車など工業製品の輸出で追い風となるが、農業は海外の安い農産物との競争になります。農業にいいよ市場開放の荒波が押し寄せてきます。



政府資産によるとTPP発効で全国の農林水産物の生産は年間最大1500億円減少する。牛肉が400億円、牛乳・乳製品が300億円と畜産の打撃が大きいとし、長野県の試算も牛肉の減少額が最

大5億円と見込んでいます。この試算は過小評価と思われる、EUやRCEPも加わることから相当大きな影響を受けることになりました。政府の農業対応は、種子法の廃止で巨大種子多国籍企業の種子ビジネス参入に道を開き、「都道府県が有する種苗の生産に関する知見の民間事業者への提供を促進する事」を明記するなどしています。その場の小手先の対応ではなく、食糧安全保障を踏まえ、農業を基幹産業としてどんな農業を守り育てるのか真剣な対象が必要であります。

洪田見 太田勲

今年も正月食品の物品販売を行いますのでご協力をお願いします。

日本共産党池田ファンクラブ

主な食品			
有田みかん	10kg	4,000円	
だし昆布	100g	1,000円	
早煮こんぶ	100g	800円	
きざみとろろ	40g	640円	
かまぼこ松竹梅	1袋	1,000円	
ちくわ	5本	800円	

ご希望の方は役員まで連絡ください。
みかんは品薄ですので早くお願いします。



参院選を市民と野党の共闘で！

長野選挙区も具体化へ取り組み

来年7月に実施される参院選で、市民と野党の共闘について11月16日「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と野党（日本共産党・立憲民主党・国民民主党・無所属の会・自由党・市民党）が初めて一堂に会し、一人区で野党協力を行うことについての意見交換を行い、安倍政権を倒すため候補者一本化することを原則一致しました。

長野県ではすでに10月8日に、多くの市民団体が参加する「信州市民アクション」と4野党（共産・立憲民主・国民民主・社民）の意見交換が行われ、野党統一候補との



前回の参議院選挙は
野党共闘で勝利

「政策協定」となる基本政策5項目が、市民団体から提起されています。

- ①安倍政権下での改憲に反対し、立憲主義の政治回復をめざす。
- ②新安保関連法、特定秘密保護法、共謀罪の廃止を求めらる。
- ③沖縄の米軍辺野古基地建設に反対し、日米地位協定の見直しを求める。
- ④原発の再稼働に反対、原発ゼロ社会をめざし、再生可能エネルギーを促進する。
- ⑤格差と貧困を拡大するアベノミクスをやめさせ、所得再配分を重視する政策へ転換する。

大北地域の市民団体はこの経験継続しようと「野党共闘をさらに進める大北懇談会」を作り、学習会や平和フェスティバル、毎月3日のスタンディングなどを行いながら、松本を中心とする「中信市民連動」などと共に、本気の野党共闘実現の取り組みを働きかけています。

市民を中心とした野党統一候補となるよう注視しましょう。

文芸欄

俳句

読者の皆さまからの投稿を掲載します。俳句、短歌、川柳、詩などお待ちしています。

- タ紅葉光に埋む古刹かな（幸代）
- 異常気象余白余白の菊花展（みち子）
- 秋高し憲法守れののぼり旗（邦夫）



コラム
有明

トランプ大統領の「アメリカ第一主義」政策が大きな波紋を巻き起こしている。

11月17日フランスのマクロン大統領が第一次世界大戦終戦100年記念式典で名指しこそ避けたものの、暗にトランプ氏を非難し「自国利益が最優先で他国のことなど気にしない、国際社会から身を引くような行為は間違いだ。その様なことになれば、それは我々の責任だと次世代は当然指摘するだろう」と各国首脳に「平和のために戦う」という呼びかけた。▼世界のあちこちで右翼的なナショナリズムの台頭が報道され移民敵視はじめ様々な差別的風潮がひろがっている。最近ではミントランプといわれる人物がブラジル大統領に選出された。国際連盟がその機能が果たせず第二次世界大戦に進んだ前夜を想起させる。▼日本でも安倍内閣誕生以来とみに右傾化した風潮の強まりを感じる。マスコミも政府の圧力による忖度なのか、韓国高裁の徴用工判決や千島列島返還問題の報道でも、歴史認識が疑われるものがある。▼物事の本質をとらえないマスコミが人々を誤った方向に導いたのは第二次世界大戦の苦い経験だ。真実を報道する赤旗の重要性を特に感ずる。